コロンブス 地域経済の景気予報／ひと目でわかる地元の景況・活況データーベース

北・陸 富山県

段ボールに新たな可能性を見出しアイデア溢れる商品を生み出す

ジャパンパック㈱

54歳、専務の地位を投げうっての創業。長田宏泰社長は高校卒業後、設立間もない包装資材製造会社に入社し、段ボール事業に従事してきた。長い間、付加価値の高い製品づくりを目指してきたが、会社の方針が量産重視に方針転換。そこでみずから起業することに。

もともと量産指向が強い段ボール業界。長田社長はそれを逆手にとって、手間をかかるものに活路を見出した。

開発したのは金属缶に代わる輸送容器「Nパック」。発泡スチロールに代わる断熱容器「Nクール」。切り花輸送容器「Nフラワー」。みな段ボール製だ。製品第一号の「Nパック」は、ある接着剤メーカーの声から生まれた。「容器は処理しにくいから、と送り返してくる顧客がいる。送料や処理費用も負担しなければならないので頭を痛めている」と聞き、長田社長は段ボールの内側に防水フィルムを張る方法を思いつく。

だが、工場の充填ラインで使える製品をつくるのは容易ではなかった。改良を重ねて商品化にこぎ着けたのは1年半後。現在では、接着剤メーカーのほか、塗料や食品、自動車メーカーなどで使われている。

商品開発について長田社長は「お客様の困りごとを解決するという軽いスタンスで取り組んだほうがうまくいく」と考えている。

これまでは容器という枠内での仕事が中心だったが、今後はほかのジャンルにもチャレンジしていきたいという。今年2月には東京営業所を開設し、首都圏での営業も本格化した。アッと驚くような段ボール製品を目にするのも間近だ。

コロンブス　２００８年４月号（東方通信社）　４３P

段ボールに新たな可能性を見出しアイデア溢れる商品を生み出す
ジャパンパック㈱

５４歳、専務の地位を投げうっての創業。長田宏泰社長は高校卒業後、設立間もない包装資材製造会社に入社し、段ボール事業に従事してきた。長い間、付加価値の高い製品づくりを目指してきたが、会社の方針が量産重視に方針転換。そこでみずから起業することに。

もともと量産指向が強い段ボール業界。長田社長はそれを逆手にとって、手間をかかるものに活路を見出した。

開発したのは金属缶に代わる輸送容器「N パック」。発泡スチロールに代わる断熱容器「N クール」。切り花輸送容器「N フラワー」。みな段ボール製だ。製品第一号の「N パック」は、ある接着剤メーカーの声から生まれた。「容器は処理しにくいから、と送り返してくる顧客がいる。送料や処理費用も負担しなければならないので頭を痛めている」と聞き、長田社長は段ボールの内側に防水フィルムを張る方法を思いつく。

だが、工場の充填ラインで使える製品をつくるのは容易ではなかった。改良を重ねて商品化にこぎ着けたのは１年半後。現在では、接着剤メーカーのほか、塗料や食品、自動車メーカーなどで使われている。

商品開発について長田社長は「お客様の困りごとを解決するという軽いスタンスで取り組んだほうがうまくいく」と考えている。

これまでは容器という枠内での仕事が中心だったが、今後はほかのジャンルにもチャレンジしていきたいという。今年２月には東京営業所を開設し、首都圏での営業も本格化した。アッと驚くような段ボール製品を目にするのも間近だ。